

妻ヶ丘中学校だより

令和7年11月26日（水） 校長 飯干 裕二

宮崎県秋季体育大会での活躍

10月下旬から11月初旬にかけて、本校の多くの生徒（1、2年生）が、宮崎県秋季体育大会に出場し、素晴らしい活躍をしました。本番はあくまでも、全国大会につながる来年度の総合体育大会になりますが、それを見据えた上でも大変頼もしい結果となりました。

「厳冬に耐えて富士は日本一」という言葉があるように、この冬にしっかりと鍛えて、更に成長することを期待しています。なお、入賞者等は以下のとおりです。

- 男子ソフトテニス
 - ・男子個人戦 優勝 高橋さん、高さんペア
- 女子ソフトテニス
 - ・女子団体戦 3位 ・女子個人戦 3位 工藤さん、長友さんペア
- 軟式野球 3位

受賞ラッシュです

文武両道と言われるように、本校の生徒は、スポーツ面及び文化面において、顕著な成績を収め、様々な賞をいただいております。以下のとおりお知らせいたします。なお、写真は明るい選挙啓発4コマまんが授賞式の様子です。



○ものづくり同好会（第28回創造アイデアロボットコンテスト宮崎県大会）

- ・制御部門（九州大会出場のみ掲載） ・基礎部門（九州大会出場のみ掲載）
優勝 藤本さん 2位 田口さん 技術賞 金田さん、五十川さん、谷村さん
- ・応用部門（九州大会出場のみ掲載）
3位 バヤルさん、中島さん、深見さん

※なお、九州大会は12月13日（土）に沖縄県豊見城中学校で開催されます。

- 明るい選挙啓発4コマまんが

- ・最優秀賞 上池さん ・都城市選挙管理委員会委員長賞 山之内さん

- 都城市スポーツ賞（個人の部）

- ・少林寺拳法 岩元さん、安藤さん ・レスリング 前原さん

- 税についての作文

- ・ 宮崎県租税教育推進中央協議会 銅賞 竹中さん
- ・ 都城地区租税教育推進協議会 銅賞 松本さん

鑑賞教室が行われました

去る11月11日（火）に、本校体育館にて鑑賞教室が行われました。都城市が主催しています小中学校アウト



リーチ事業の一貫として行われ、ハモネプリーグの優勝経験があり、みやこんじょ大使である「じゃ〜んずΩ」様によるアカペラコンサートでした。生徒の皆さんは、インフルエンザの感染防止のため、全員がマスク着用となりましたが、大いに盛り上がり、楽しい時間を送ることができました。じゃ〜んずΩ様を始め、楽しい時間を提供していただいた関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

夢・希望・自信・可能性を奪い取る言葉

以下のご紹介させていただく文章は、「下町ロケット」のモデルとなった植松 努（うねまつ つとむ）氏の講演内容です。既にご存じの方は申し訳ありません。

僕は小学校に上がって、すぐ担任の先生にものすごく嫌われたのです。僕が信じていたことや、ばあちゃんが教えてくれたことは、全部否定されました。僕の夢は「お前なんかできるわけがない」ってさんざん言われました。

僕はその先生が言った言葉を忘れていません。その先生は「**どーせ無理**」という言葉をよく使っていたのです。この「**どーせ無理**」という言葉は恐ろしい言葉で、人間の夢・希望・自信・可能性を奪ってしまう最悪な言葉です。

でも、とても簡単な言葉なのです。これを唱えるだけで、何もしなくて済んでしまい、とても楽になれる恐ろしい言葉でもあるのです。しかし、こんな言葉で未来を諦めさせられてしまった人たちは、自信を失ってしまうのです。

でも、人間は生きていくためにはどうしても自信が必要なのです。だから、自信を失った人の中には、お金で自信を買ったり、身を飾るようになっていたり、それを自慢したりします。また、他の人が頑張ったら困るから、努力する人を邪魔するようになってしまう人もいます。

こういう人が皆さんの身の回りにいるかもしれません。でも、その人たちは自分の自信を守りたくて、仕方なく他の人の自信を奪っているかもしれません。

さらに、僕の会社にはアフリカの人たちが来てくれています。彼らが僕に教えてくれました。今、アフリカでは「自分なんて勉強してもムダ」「努力してもムダ」と自分の未来や可能性を諦めてしまった人たちが、最後には人を殺して奪うようになります。なぜなら、頑張れないから、生み出せないから奪うしかないのです。他にも、嘘をついたり、弱いふりをして、人を騙して奪うことも頻繁にあるそうです。でも、みんなが奪ってしまったら、社会なんか成立しないのです。

僕はこの「**どーせ無理**」という言葉の恐ろしさを知ることができました・・・。

いかかでしょうか？教育に携わる私としては、胸が締めつけられる内容です。本校では人権教育にも力を入れており、12月5日には人権教育集会も予定しています。子どもたちの可能性は無限です。夢に向かって意欲をもち、努力を続ける人間を育てることが、大人の役目だと思います。是非、子どもたちに前向きな声かけを心掛けたいものです。